

行事予定

2020年(令和2年)9月~12月

【特別展／企画展】

10月3日(土)~12月18日(土)
研究室訪問シリーズIII
「黒木重雄 一絵を描くという生き方」
【場所】①西南学院大学博物館 1階特別展示室、2階講堂
②西南コミュニティーセンター

11月28日(土)~2021年 1月9日(土)
2020年度 博物館実習成果展
【場所】西南学院大学博物館 1階常設展示室

12月23日(水)~2021年 2月27日(土)
2020年度特別展
「地図に描く一伝えられた「日本」」
【場所】西南学院大学博物館 1階常設展示室・特別展示室
2階講堂

【休館】

毎週日曜日

10月1日(木)~10月2日(金)
12月19日(土)~12月22日(火)、12月25日(金)
12月28日(月)~2021年1月5日(火)

新型コロナウイルスの影響により、行事予定は日程、内容等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

編集後記

本来であれば2020年5月に皆様にお届けする予定だった博物館ニュースvol.40ですが、新型コロナウイルス感染症の影響をうけ9月の刊行となりました。博物館も4月からの長きにわたる臨時休館を経て、執筆現在、8月の再開館に向けスタッフ一同で準備を進めています。安全・安心を第一に、皆様にまたご来館いただける日を心待ちにしています。

学芸研究員 山尾 彩香

西南学院大学博物館 SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00~18:00 (入館は17:30まで)

休館日 / 毎週日曜日、夏季休暇[8/10~8/16]、キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28~1/5]、そのほか臨時休館あり

入館料 / 無料

[seinamuseum](https://www.facebook.com/seinamuseum) [@seinan_museum](https://twitter.com/seinan_museum) [@seinan_museum](https://www.instagram.com/seinan_museum)

来館者掲示板

【来館者の言葉】

このような場所を無料で開放して下さってありがとうございます。西南学院大学の歴史について少しでも知ることができ、とてもためになりました。ウィリアム・メレル・ヴォーリズ宣教師さまの献身で建てられたこの学校のため、また日本のために、思い出すたびにお祈りします。韓国から来たある神学大学生 (原文韓国語 2020年1月)

とても綺麗に展示品が保存されていることに驚き、感動しました。流石、九州一の私立大学とも思い、歴史を感じました。学生運動が興味深かったです。(2020年2月)

4年間お世話になりました(オルガンの授業や学芸員の授業では特別にお世話になりました)。大好きな博物館です。ありがとうございました!! (2020年3月)



博物館の建物が着工から100周年を迎える今年、「文化財とともに生きていく」展には県外だけでなく、海外からも多くの方にご来館いただきました。新型コロナウイルスが猛威を振るい、外出もはばかれる日々が続いていますが、当館では博物館に来た気分を味わっていただけるようSNSで収蔵品の紹介を行う「エア博物館」の活動も行っています。是非のぞいてみてくださいね。

学芸調査員 迫田ひなの

アクセスマップ ACCESS MAP



- 福岡空港 → 西新駅下車...約17分
- 博多駅 → 西新駅下車...約12分
- 天神 → 西新駅下車...約8分
- ※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分
- 博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分
- 天神 → 修猷館前...約20分
- ※修猷館前バス停から徒歩5分
- 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分
- 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分
- 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

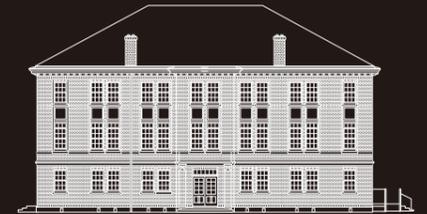
News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 40 2020.9

郷西南学院大学

所蔵品紹介	【キリスト教文化】12世紀聖書写本「ローマの信徒への手紙」
資料でみる西南学院の歴史④	ランキン・チャペル
博物館通信	「クリスマスミニコンサート&ナイトミュージアム」ほか
展覧会紹介	黒木重雄 一絵を描くという生き方



所蔵品紹介 特集

【キリスト教文化】

12世紀聖書写本「ローマの信徒への手紙」

Latin Bible Manuscript "Epistle to the Romans"
12世紀/西欧/羊皮紙、彩色

15世紀中頃にヨハネス・グーテンベルクが活版印刷術を発明・実用化する以前、西洋における書物は「写本」(manuscript)という形式で制作されていました。写本とは、一枚一枚手書きで文字や図像を描き込んで制作する書物のことで、時代や地域によってさまざまなヴァリエーションがあります。西洋中世においては、文字や余白を色鮮やかに彩色する「装飾写本」(illuminated manuscript)が数多く制作されていました。本資料もまた、西洋中世に制作された装飾写本の一つです。

文字の書体はカロリング朝の時代に発案されたカロリング小文字体(Caroline minuscule)であり、続く時代に流行したゴシック体(Gothic script)の兆候もうかがえます。その書体で記されているのは新約聖書『ローマの信徒への手紙』の冒頭部分です。本資料の最大の特徴は、左段落冒頭の頭文字(イニシアル)“P”が大きく色鮮やかに彩色されている点でしょう。剥落が激しく、元々どのような図像であったかは特定できませんが、“P”の余白部分には聖パウロ(『ローマの信徒への手紙』の著者)の図像が描かれていた可能性があります。通常の文字の何倍もの大きさで記したイニシアルの余白部分に、まるでそこに住みついているかのように人物や動物を描き込む技法のことを「居住頭文字」(inhabited initial)と言い、ロマネスクの装飾写本によく見られる技法の一つでした。

もしこの“P”に聖パウロが描かれていたとしたら、どんな顔をして、どんなポーズを取っていたのだろうか。あるいは、聖パウロ



だけではなく、イエス・キリストも一緒に居たのだろうか(でもそれだと「居住」するには狭すぎる?)。そんな風に中世の想像力に思いを馳せるのも、写本の楽しみの一つです。

学芸員 下園 知弥



SEINAN GAKUIN

資料でみる西南学院の歴史

4

戦後、西南学院は新たに歩みはじめます。1949年の大学新設にともない、現在大学1号館がある場所に大学本館（大学1号館）が建てられました。そして、その隣に建てられたのが学院の新しいシンボルとなるランキン・チャペルです。

チャペルの建設は、ミッションボードからの全額援助によって実現しました。1953年11月にミッションボード総主事B・J・コーセン（1909-1985）を迎えて起工式が行われました。コーセンは、米国南部バプテスト連盟東洋総主事を務めたM・T・ランキン（1894-1953）の功績を称え、この講堂を「ランキン・チャペル」と命名することを発表し、次のメッセージを送っています。「今や世界は最大危機に面している。これは科学や教育によって解決せられる問題ではない。その意味において宗教の持つ意義は大きい。すべての学問は神の知識を土台にしたものでなければならない。その意味における西南の持つ役割は大であり、このチャペルを大いに利用してもらいたい。ここにランキン堂が立つことは神の主旨にそう事であり、やがては日本中に神の祝福と恵みを広める一端になることを祈ってやまない」。

1954年に献堂されたランキン・チャペルは、学院のキリスト教教育の中心として長く親しまれた後、老朽化により2006年に52年の歴史に幕を下ろします。解体工事の際に定礎の部分を取り外すと、そこに埋められていた聖書や資料が見つかりました。これらのうち、旧新約聖書には「西南学院大学講堂新築内外バプテストの祈りと献金に支えられて 紀元一九五四年七月」の端書があり、祈りによって結実した西南学院の新しいチャペルの誕生が記念されています。

学芸研究員 宮川 由衣



ランキン・チャペル(1954年) 所蔵:西南学院史資料センター



ランキン・チャペル解体工事の際に見つかった聖書



博物館通信

2019年12月から2020年8月にかけて行われた博物館活動や出来事の中からいくつかをご紹介します。

西南学院大学博物館では2020年2月から4月にかけて企画展「文化財とともに生きていく—ドージャー記念館 次の100年に向けて—」を開催しました。今回の展覧会ではスタンドグラスや、卒業生の方から寄贈された戦時中から戦後にかけての教科書や

学生帽など目玉となる展示品が多く揃い、見ごたえのあるものとなりました。また、二階展示スペースには学園設立時から2006年のリニューアル工事までの写真を数多く展示し、訪れた卒業生の方々より「懐かしかった」などのお声を頂きました。

学芸調査員 早田 萌

2019年12月17日(火)
クリスマスミニコンサート&ナイトミュージアムを開催しました。

2020年2月3日(月)～3月14日(土)
ワークショップ
「発見!わたしのお気に入り&クイズラリー」
「ジョージくんのわくわくレンガパズル」を開催しました。

2020年2月3日(月)～4月3日(金)
「文化財とともに生きていく—ドージャー記念館 次の100年に向けて—」を開催しました。



企画展紹介

次回開催

西南学院大学博物館
研究室訪問シリーズⅢ

黒木重雄 絵を描くという生き方

会期/2020年
10月3日(土)～12月18日(金)

会場/【第1会場】西南学院大学博物館
1階特別展示室・2階講堂
【第2会場】西南コミュニティーセンター 1階ホワイエ

主催/西南学院大学博物館

協力/黒木重雄研究室
(西南学院大学人間科学部児童教育学科)

本展覧会では、本学人間科学部児童教育学科の黒木重雄教授が幼少の頃より描き続けてきた絵画作品とともに、本学での児童教育のために作成した教材や学生の成果物を展示します。第20回岡本太郎現代芸術賞展で特別賞を受賞した《One day》(2014)のほか、福岡未発表作品を一挙公開。



Somewhere 2017 アクリル・キャンバス 227.5cm×728.0cm



祭壇1 1995 アクリル・シルクスクリーン・和紙 130.3cm×227.5cm



Burning tree 2018 アクリル・キャンバス 227.5cm×546.0cm

プレゼント企画

期間中、アンケートにお答えいただいた方に黒木重雄の作品ポストカードをプレゼント!
※数量限定のため、なくなり次第終了となります。

